

平成 31 年度 アートスタートプログラムについて

【実施背景】

平成 28 年 3 月に「自由都市堺文化芸術推進計画」が策定され、基本的目標に掲げる「自由で心豊かな市民生活の実現」を図るための重点的方向性として「将来の文化芸術を担う子どもたちの育成」が位置付けられている。

また、次代を担う子どもに対する文化芸術教育の必要性については、堺市文化芸術審議会においても認められており、未就学児に対するアートプログラムとして、平成 30 年度からモデル事業として実施しているが、施設から多くの実施希望があったが、すべてを実施することができなかった。

【目的】

未就学児に、音楽・造形体験など、普段の生活の中で経験することの少ないアートプログラムを提供することで、子どもが目を見て、経験し、自分でやってみることで、次代を担う子どもたちに、情操教育の一環にとどまらない創造力や認知思考能力に加え、豊かな心と感性を育むとともに、将来に向けて、堺市にアートを受容しやすい環境を構築する。

なお、講師には、堺市新進アーティストバンク登録者を積極的に活用することで、次代を担う若きアーティストにアウトリーチ事業の経験を重ねてもらいスキルアップを図ると共に、バンク制度PRや今後の活動の場の拡大に繋げていく。

【対象】

未就学児

【予算額】

2,770 千円（拡充：1,632 千円）

【内容】

- ・平成 31 年度も平成 30 年度に引き続き、モデル事業として実施する。
（公立・民間の保育園・幼稚園・こども園に対して実施）
- ・内容は、造形体験、音楽体験（楽器体験）などを予定しており、造形体験の内容充実や、音楽体験の楽器の種類の実験なども検討する。
- ・未就学児向けの授業を展開。（園の実施ニーズを調査し、実施内容の確立。）
- ・事業実施にかかる自己負担金（施設予算）についてもアンケート調査を行う。

